

2026 年 2 月 12 日

## カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）の検出について（第 2 報）

当院における、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）発生に関する対応について経過をご報告致します。

2025 年 12 月より当院では、特定の病棟において入退院時および転入出時の患者スクリーニング調査を実施しております。2026 年 1 月末時点における結果を下記にお示しします。

また 2026 年 1 月には国立感染症研究所のチームに調査をいただき、助言をもとに院内での感染対策強化にも取り組んでおります。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。なお、今後の経過につきましても、当院ホームページにおいて随時報告してまいります。

### 記

#### CRE スクリーニング調査（2025/12/15－2026/1/31）

- ・スクリーニング検査数 458 検査
- ※ 対象病棟における入退院および転入出される患者様全員を検査対象としています
- ・対象となる CRE 陽性 3 例（保菌者 3 症例、感染者 0 症例）

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 病院長

+++++  
※1 CRE につきましては下記囲み枠もご参照ください。

#### ○カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）

- ・抗菌薬が効きにくい細菌（薬剤耐性菌）の一種。カルバペネム系抗菌薬に耐性を示します。このうち、カルバペネムを分解する酵素（カルバペネマーゼ）を産生する腸内細菌目細菌をカルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌（CPE）といいます。今回は この CPE を対象としています。
- ・腸内細菌目細菌は、大腸菌などと同じく腸内等に保菌されている状態では病気の 原因にならず治療は必要ありません。膀胱や腎臓、胆のうなどでは病気を引き起こすことがあります。
- ・CRE が原因となって感染症を発症した場合は、有効な抗菌薬が限られるので治療が難しくなる可能性があります。

※2 該当する症例の定義は次のとおりです。

「2025 年 12 月 15 日から 2026 年 2 月 12 日までに採取された検体から、初めて CRE が分離され、当該分離菌がカルバペネマーゼ陽性と確認された患者」